

患者の自律へのアプローチ

第3回東北サイコネフロロジー研究会

2021.09.12

医療法人社団清永会 矢吹病院

政金生人

本日の内容

- **前回の復習 自律を導く前提となるもの**
- **本質を考える**
- **患者のプライオリティを尊重する**
- **まとめ**

本日の内容

- **前回の復習 自律を導く前提となるもの**
- 本質を考える
- 患者のプライオリティを尊重する
- まとめ

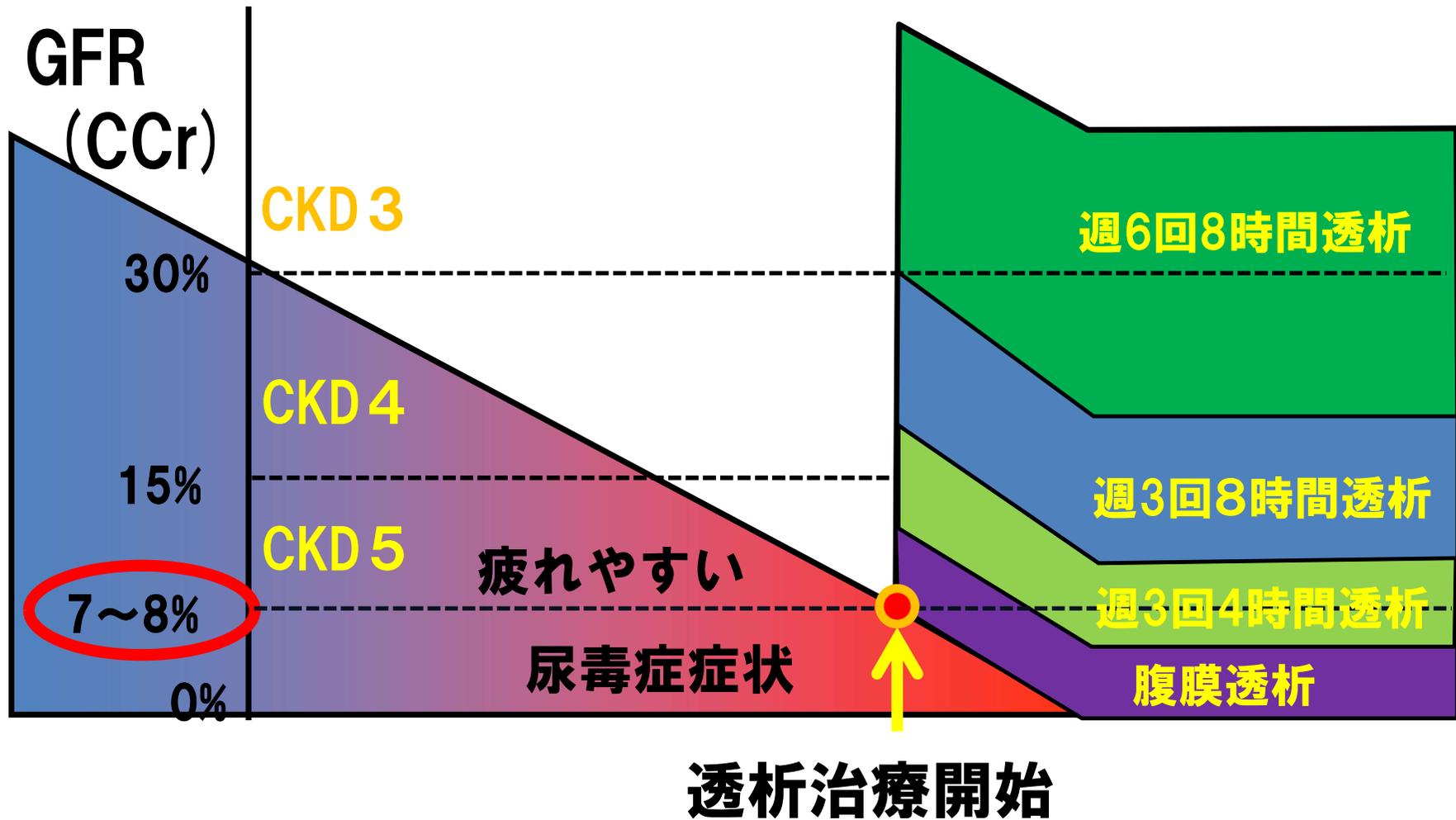
前回の復習 前提条件～問い直すべき事～

- 我々は科学的に正確な情報を誠実に提供しているか。
- 患者が本当にほしい情報を提供しているか。
- 医療者の立場として、自分を棚上げしていないか。
- 患者をお客様扱いしていないか。当事者意識を持たせているか。



本日のテーマ

前回の復習 透析患者は透析不足



前回の復習 正確な指導をしているか？

1. 体重増加・・・「水分注意」はダメ

- ① 必要なのは塩分制限
- ② 食塩8g摂取で体重が1kg増える
- ③ 体重増加5%と減塩指導7gの矛盾
- ④ 透析患者には味覚障害が高率にある

2. リンが高い・・・「何食べたの」はダメ

- ① 透析患者は透析不足
- ② 高リン血症の原因は食事だけではない

前回の復習 「あとどのくらい生きられますか？」

男性

年齢	70歳	75歳	80歳	85歳	90歳
一般平均余命	15.6	12.1	8.9	6.3	4.4
係数	0.53	0.53	0.53	0.53	0.53
透析平均余命	8.3	6.4	4.7	3.3	2.3

女性

年齢	70歳	75歳	80歳	85歳	90歳
一般平均余命	19.9	15.7	11.8	8.4	5.7
係数	0.49	0.49	0.49	0.49	0.49
透析平均余命	9.8	7.7	5.8	4.1	2.8

注 上記に患者個々の併存病態や社会経済的状況が加わる。

厚生労働省「厚生労働省平成27年簡易生命表の概況」から算出

<https://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/life/life15/dl/life15-02.pdf>

自分を棚上げしていないか

- 物事の本質を知る
- 依存の本質は「思い込みで」「すり込み」
- チョコレートは本当においしいのか？
- 試してみるのが一番良い。
- こだわりを知る



21世紀医療の中心概念

- Patient centeredness

- 治療の目的を、「医学的な成績」でなく、「患者にとって価値あるアウトカム」にする。

- Patient and family engagement

- 患者自身が医療チームの一員として自らの疾病や治療を理解し、主体性をもって医療に参加する。

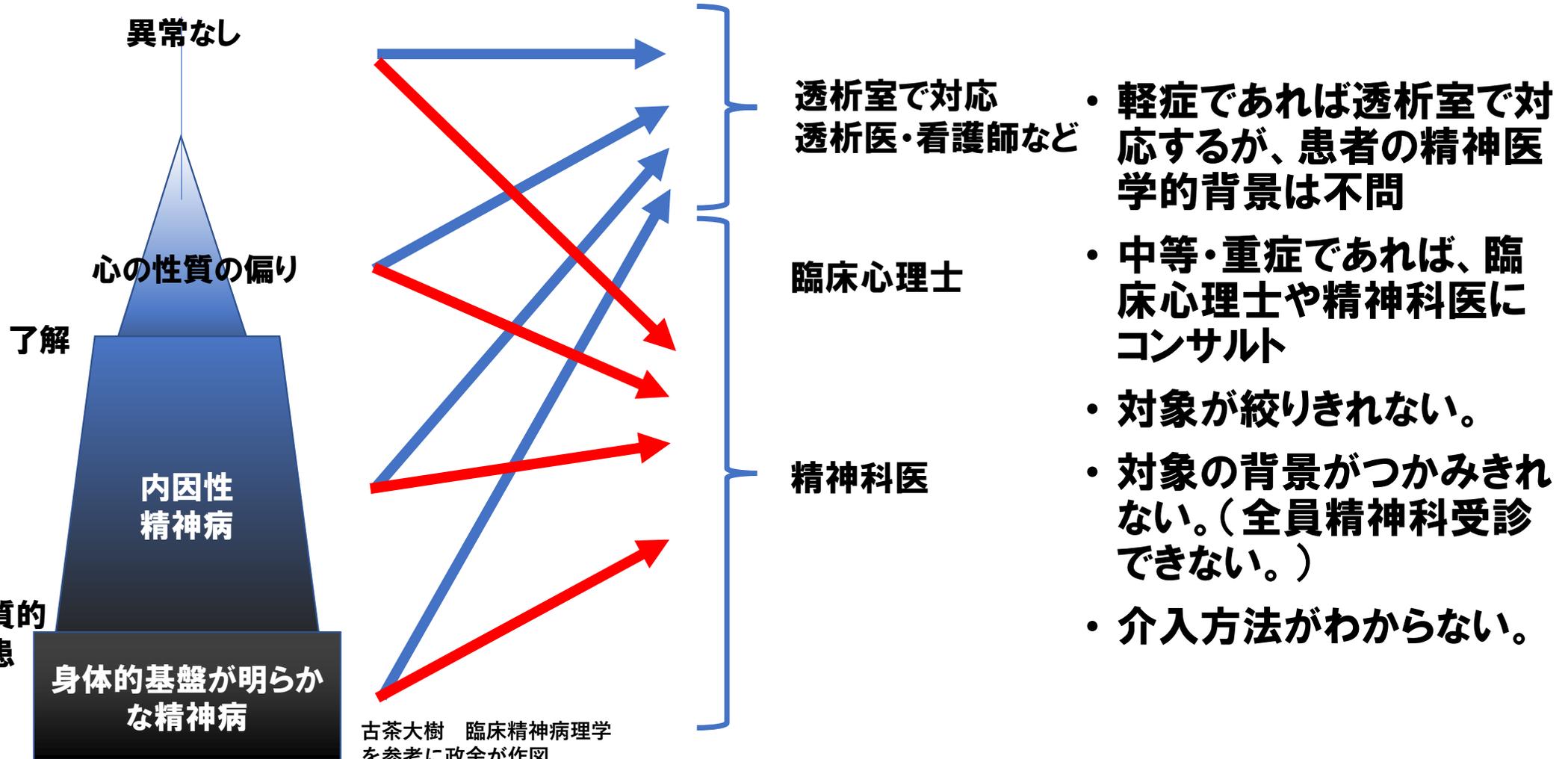
- Shared decision making (SDM)

- 治療法決定にあたって、医療情報提供だけでなく患者の価値観、不安、疑問を引き出し、協働で最善の選択を探る。

自立心
自律性

私たちが対する患者たちとは？

例えば抑うつ・不安の表出があると



本日の内容

- 前回の復習 自律を導く前提となるもの
- **本質を考える**
- 患者のプライオリティを尊重する
- まとめ

自立と自律の違い

- **自立**

- 他人に頼らず独り立ちすること
- 類語： 独立、非依存、independence
- 方向性は限定されない・・・？

- **自律**

- 定められたルールに基づいて行動すること
- 類語：自主的、主体的、自治、autonomy
- 自分の状態を明らかにして、在り様を考えられる。
- 社会の中で存在を認められて、それを自覚して、将来を見通せる。

あきらめる(諦める、明らめる)

• 一般的な使われ方

- 望んでいたことの実現が不可能であることを認めて、望みを捨てる。断念する。思い切る。
- 悔い、迷い、思いが残る。

• もともとの意味

- 物事の事情・理由をあきらかにする。
- 心をあかるくする。心を晴らす。
- 迷いが無い。次に向けての前向きな気持ち。

こだわりを作り出しているのは自分自身



- 森田正馬博士 日本人の気質に根ざした、神経質の治療方針を提案
- 今では、神経症、パニック障害など多くの精神疾患だけでなく、日々の生き方の指針として紹介されている。
- 「あるがままを受け入れて、素直に前向きに生きる。」
- 強迫性性質は、本来のありたい自分に遠い自分に「ねばならない」こだわりを作ってしまう。そのギャップにはまっていく。（元々の希望はとても前向きなものである。）
- 多くの神経症性質を苦しめるのは、自分の状況が悪くなることによって生じる社会的喪失への恐れである。（元々はみんなと仲良く充実して生活していきたいという前向きな気持ち）
- ほとんどの患者は自己の病気に対しての前向きな気持ちを持っている。

アレン・カーのセラピーシリーズ

- 物事の本質を知る
- 依存の本質は「思い込みで」「すり込み」
- チョコレートは本当においしいのか？
- 試してみるのが一番良い。
- こだわりを知る



本日の内容

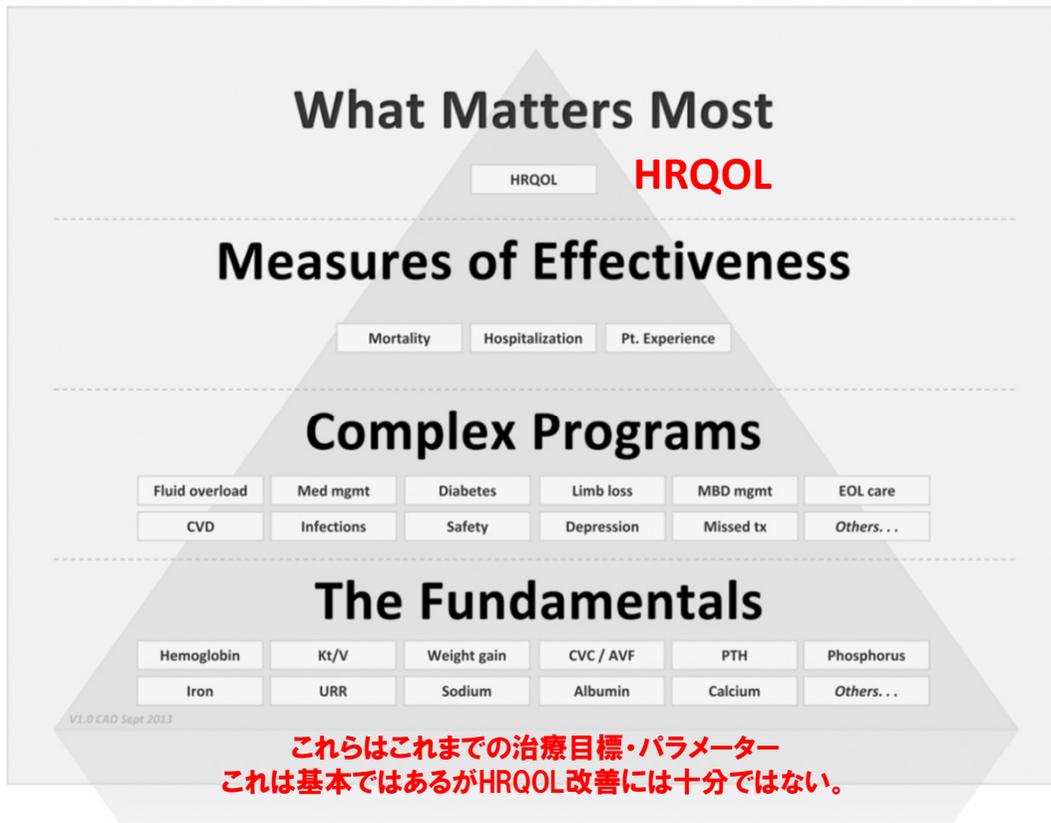
- 前回の復習 自律を導く前提となるもの
- 本質を考える
- **患者のプライオリティを尊重する**
- まとめ

Improving Outcomes for ESRD Patients: Shifting the Quality Paradigm

Nissenson AR, Clin J Am Soc Nephrol 9:430-434,2014

Introduction

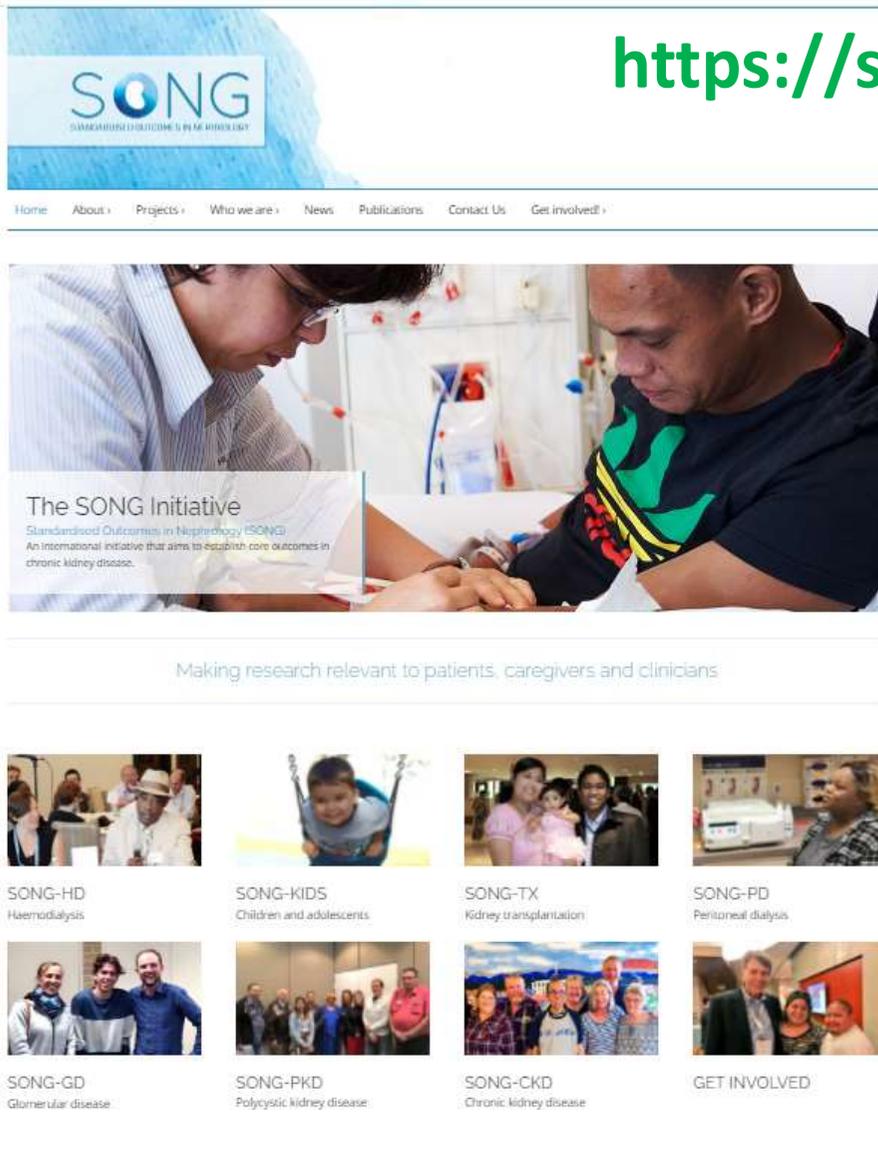
If you don't know where you are going, you will wind up somewhere else. –Yogi Berra



- 透析治療は治療体系としては確立したが、依然として予後や患者QOLは改善していない。
- そこに莫大な予算が消費されている。
- ESRD患者は、より長く生きることを大事にしているが、生活の質を向上させるようなより包括的なケアや、疾患以外のことにも対応してくれる介護者を求めている。

SONG Initiatives: Standardized Outcome in Nephrology

<https://songinitiative.org/>



The screenshot shows the homepage of the SONG Initiative website. At the top left is the SONG logo with the tagline 'STANDARDISED OUTCOMES IN NEPHROLOGY'. Below the logo is a navigation menu with links for Home, About, Projects, Who we are, News, Publications, Contact Us, and Get involved. The main content area features a large image of two people looking at a document, with a text box titled 'The SONG Initiative' that reads: 'Standardised Outcomes in Nephrology (SONG) An international initiative that aims to establish core outcomes in chronic kidney disease.' Below this is the tagline 'Making research relevant to patients, caregivers and clinicians'. At the bottom, there is a grid of eight smaller images, each representing a different SONG initiative: SONG-HD (Haemodialysis), SONG-KIDS (Children and adolescents), SONG-TX (Kidney transplantation), SONG-PD (Peritoneal dialysis), SONG-GD (Glomerular disease), SONG-PKD (Polycystic kidney disease), SONG-CKD (Chronic kidney disease), and GET INVOLVED.

- *The Standardised Outcomes in Nephrology (SONG) initiative aims to establish a set of core outcomes and outcome measures across the spectrum of kidney disease for trials and other forms of research.*
- **The outcomes will be developed based on the shared priorities of patients, caregivers, clinicians, researchers, policy makers, and relevant stakeholders.**
- *This will help to ensure that research is reporting outcomes that are meaningful and relevant to patients with kidney disease, their family, and their clinicians; to support decisions about treatment.*

SONG Initiatives: Standardized Outcome in Nephrology

SONG-HD

1 Core outcomes

- すべての関係者に対して極めて重要なアウトカム
- すべての試験で報告されている。

2 Middle Tier

- ある関係者には極めて重要なアウトカム
- いくつかの試験で報告されている。

3 Outer Tier

- ある関係者、あるいはすべての関係者に重要なアウトカム
- **今後トライアルが必要**

1 CORE OUTCOMES

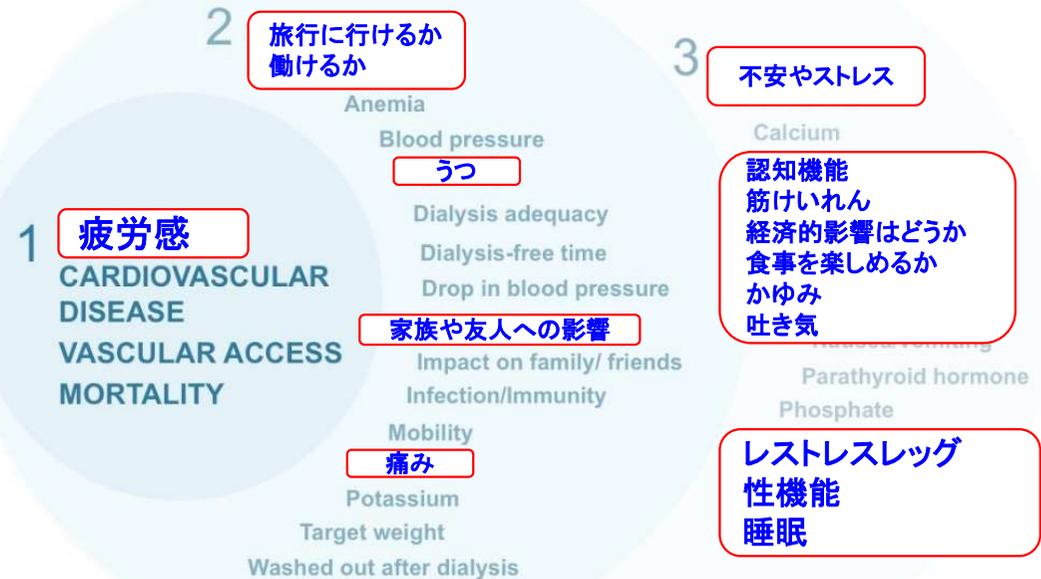
Critically important to all stakeholder groups
Report in all trials

2 MIDDLE TIER

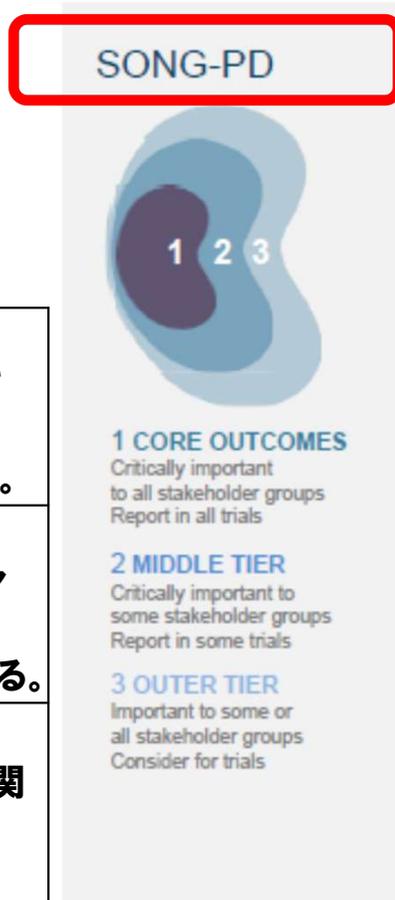
Critically important to some stakeholder groups
Report in some trials

3 OUTER TIER

Important to some or all stakeholder groups
Consider for trials



SONG Initiatives: Standardized Outcome in Nephrology



1 Core outcomes

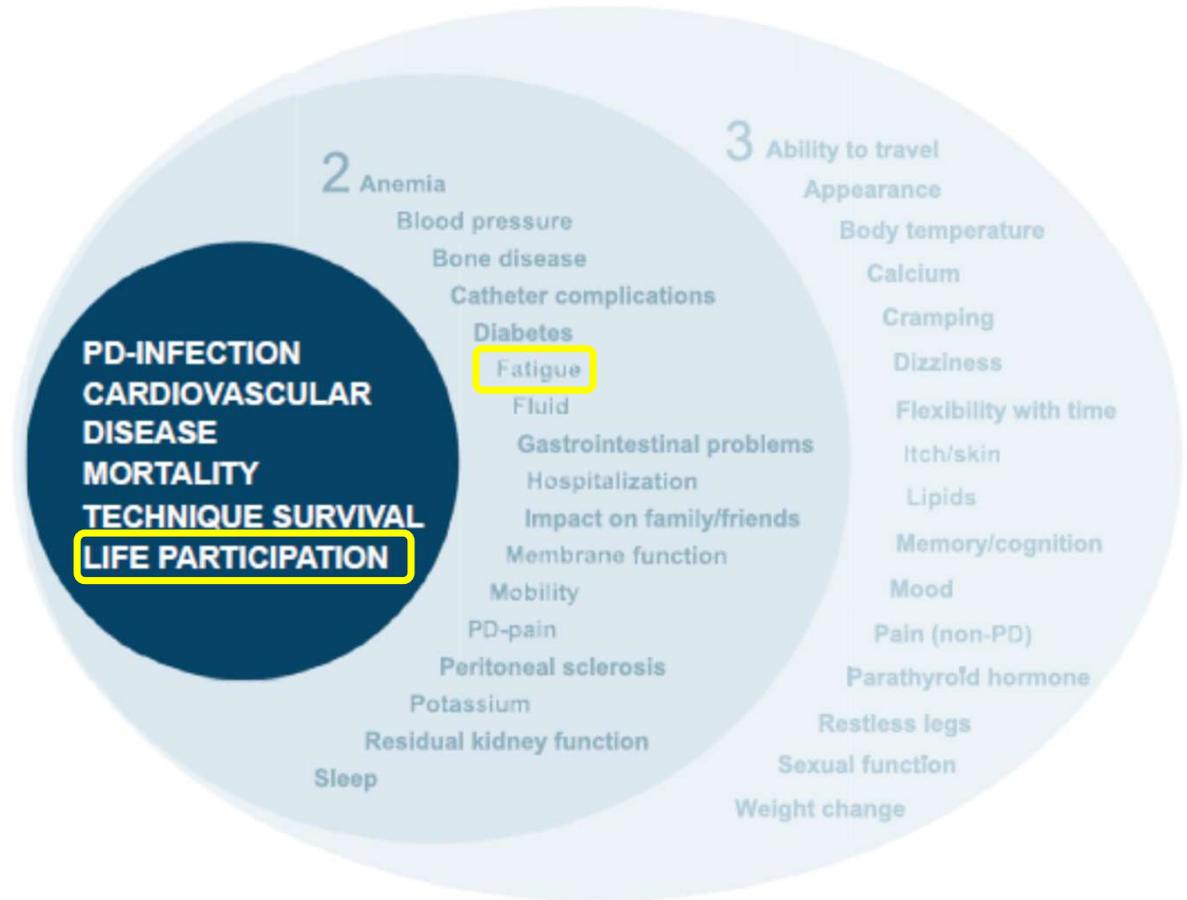
- すべての関係者に対して極めて重要なアウトカム
- すべての試験で報告されている。

2 Middle Tier

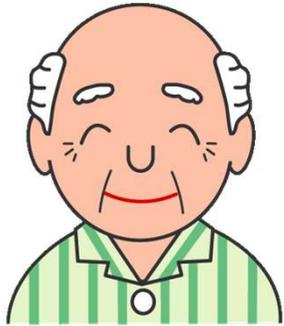
- ある関係者には極めて重要なアウトカム
- いくつかの試験で報告されている。

3 Outer Tier

- ある関係者、あるいはすべての関係者に重要なアウトカム
- **今後トライアルが必要**



患者のプライオリティを尊重した医療



79歳男性
さくらんぼ農家
糖尿病腎症

- 2006年.07月 透析導入目的で矢吹病院へ紹介
- 尿毒症・うっ血性心不全で透析が必要な状態だが、**本人はとにかく今年のさくらんぼの出荷が心配**で長期入院は拒否。本人家族は腹膜透析を希望
- 我々の対応
 - 初診時：午前、本人・家族が何を望むかの話し合い
午後、内シャントを設置
 - 翌日：血液透析開始(3日連続)
 - 7日目：SMAP施行
 - 10日目：退院、夜間透析へ、さくらんぼ出荷作業・バック交換練習
 - 7月下旬カテーテル掘り出しPD開始。
 - 農作業とグランドゴルフに没頭する毎日
 - その後腹膜炎から維持血液透析に変更
 - 2012年.10月 永眠(満85歳、透析歴7年3ヶ月)

高齢PD患者と一家族の物語

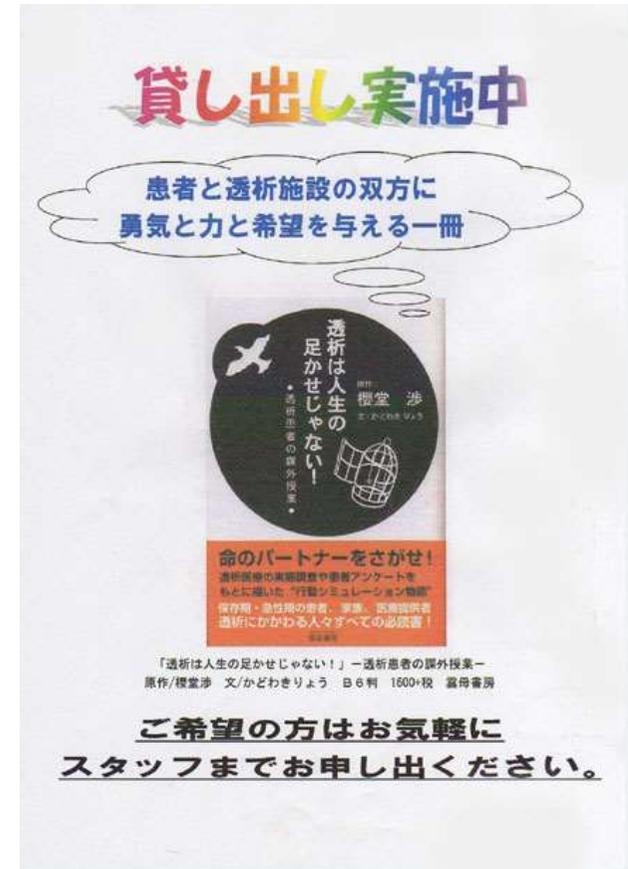
- X年12月 89歳、末期腎不全でNIPD開始
- X+1年3月 退院に際し家族の猛反対あり、面談
- X+3年11月 出口部感染で入院、不穏となる
- X+3年12月 往診開始
- X+4年4月 輸血、ステロイド入れて孫の結婚式
- X+7年10月 全身の衰弱目立つ
- X+7年12月 永眠(満97歳)

本日の内容

- 前回の復習 自律を導く前提となるもの
- 本質を考える
- 患者のプライオリティを尊重する
- **まとめ**

信頼し合った関係の構築

- 計画の概要(5月下旬)
 - 「透析は人生の足かせではない」を20冊購入、(本院10冊、クリニック10冊)
 - 透析室職員全員に読ませ、その後、透析患者に貸し出し、読むように働きかけた。
 - 本の内容について患者とディスカッションするように職員を指導
- 看護師の危惧
 - ただでさえいるクレーマーが勢いづかないか・・・
 - 新たなクレーマーが出てくるのではないか・・・
- 臨床効果(やく2週間後)
 - 透析室の雰囲気がちがう・・・
 - だべり・ゆるみ感が薄らぎ、新人ナース、CEの顔つきがちがう。



まとめ

- **患者の自律心を高めるためには、科学的に正確な情報、患者が望む情報を誠実に話す事が大切である。**
- **患者の自律を助けるのは、現在の患者の状況を明らかにすることが最初の一步である。**
- **患者の訴えの背景にあるもの、特にそのポジティブな要素をすくい上げて共有する。**
- **その上で、患者のプライオリティは何かを知る。それを中心に据えSDMを行う。**